

津 建 第 6 5 7 号
平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 様

津和野町長 中 島



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

貴職におかれましては、平素より地方における道路行政に対しご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の意見・提案について別添のとおり提出しますのでよろしくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

島根県津和野町

○現状	○要望と提案
・島根県においては人口は減少しているものの、自動車保有台数は逆に増加している。地方がいかに関車輸送に依存しているかを如実に示すものであり、自動車抜きでは生活が成り立たないのが実態である。	・道路建設の優先度を単にコスト論のみで決定すべきでなく、地方にこそ投資すべきであるとする。
・中期計画は地域格差の是正を改める良い機会である。	・格差是正のための道路整備は必要であるという意見の高まりの中、地域の自立、安全・安心の確保、環境の保全といった課題を取り上げることが必要で、中期計画には、地方の声を反映させる必要がある。 ・「山陰道」の早期整備の実現のためにも、道路財源を堅持し、地方格差是正となる道路整備政策を期待する。
・当町のような地域は、医療過疎又は医師不足に悩んでおり都会にはわからない。道路も一緒である。	・それを解消するのが政治と行政の役割である。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1地域の現状と抱える課題

津和野町

○現状

①島根県は東西に200キロ以上あり、県西端の本町から、県都松江まで車での移動は5時間を要す。ちなみに、山口市まで1時間、広島市まで2時間の時間距離である。

②地域交通における公共交通の担う割合が著しく低下しており、地方の生活は自家用車なくては成り立たない。更に、高齢者の増加で、自家用車を持つことが出来ない、いわゆる交通弱者が増えておりその対策も迫られている。

③今、医療制度改革の中で、地域医療は崩壊の危機に瀕している。地域の医療機関はやむなく、救急医療の返上や、診療科目の縮小、更には各医療機関ごとの機能分担を行っているのが現状である。

④町において、橋梁等の町寿命化対策がほとんどなされていないのが現状。

○課題

①時間当たりの移動距離の不利益は、単に行政効率のみならず、地域産業の振興の大きな阻害要因となっている。地域経済の疲弊が進む中で、悪戦苦闘中であるが、産業振興の前提となる、山陰道等、基幹道路の整備が強く望まれる。

②島根県の人口は減少しているにも関わらず、自動車保有台数は逆に増加している。また、一世帯あたりの自動車保有台数も都市部と比べ2倍以上となっており、データの的にも地方の自動車依存度が証明されている。したがって、地方で生活するうえで基礎的条件である地方道整備も緊急の課題である。

さらに、交通弱者対策として、町あるいは地元住民組織(NPO等)が運営主体となる新たな交通体系を模索する必要に迫られているが、それらをバックアップする制度設計が強く望まれている。

③地域医療の崩壊の危機に瀕し、医療過疎現象が顕著になりつつある。特に救急医療の分野における道路交通の確保は大きな課題であり、正に命をつなぐ道路として、その果たす役割は、極めて重いものがある。

④本町には橋梁が77橋あるが、その長寿命化は、財政的な問題もあり、手が付けられていない。調査費及び対策工事費の高率補助制度の創設が望まれる。

「人と自然に育まれ、温もりのある交流のまちづくり」を基本理念とします。

本町は、急峻な山々に囲まれて平坦地が少なく生産性に恵まれているとはいえませんが、反面、地形の変化がもたらす恵みは、産物の宝庫としての条件を備えています。

また、町の将来構想を考えると、国の経済政策や国土政策の動向を無視することはできませんが、経済本位の地域振興には自ずと限界があり、私たち一人ひとりが生き甲斐を持てるような社会参加を促し、豊かさを実感できる地域社会の実現が何よりも大切です。このことを劇場に例えると、「舞台の名前は津和野劇場、背景は津和野の文化と水と緑に囲まれた豊かな自然、演じるのは津和野町民です。行政を、役者の名演技を引き出すための舞台装置だとすれば、町民は、その華やいだステージで思い切り自己表現する役者です。その見事なハーモニーにより会場は興奮の坩堝と化し、連日超満員の盛況を誇る。」といったイメージです。

都市と地方の格差がますます顕在化する今こそ、きらびやかな消費生活とは正反対の、物事を創造し生産手段によるこびを見出すことの出来る地方の価値観を基本構想とします。

1豊かな自然を生かしたまちづくり

2教育と文化の薫り高いまちづくり

3地域に根ざした新たな産業の創出

4定住施策の推進と福祉

5交流による開かれたまちづくり

と言うように5本の柱を基にまちづくりを進めていく中で道路行政は重要なポジションと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

島根県津和野町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・山陰道の早期ネットワーク化 高速料金の減額 ・公共交通期間の存続についての広い意味での交通体系の 確立に向けての施策 R9和田バス停の改良	・都市と地方における移動距離のアン バランスの解消 ・地方の安全・安心の確保 ・交通弱者の移動手段確保	
・計画的・効率的な 維持管理や 更新の推進	・橋梁の耐震対策 ・補助事業の補助基準の弾力的な適応(1.5車線改良等)	・経済基盤の弱い市町村の長寿命化対策 ・低コストによる効率的な整備	
・総合的な交通安全 対策及び危機管理 の強化	・安心して往来の出来る歩道の確保 R9滝元地区から青野山トンネル間の歩道設置 ・登坂車線の充実、右折レーンの確保 R9和田地区より山口県境間の登坂車線設置 R9和田地区・直地地区内の右折レーンの設置	・交通弱者のみならず運転者側への安全 安心の確保 ・渋滞の解消、高速性の向上	
・水害等の災害に強 い国土づくり	・R9直地防災の早期事業完了	・地方の安全・安心の確保	